

平成29年度事業報告書

公益財団法人日本チャリティ協会

目 次

I	公益事業関係	1
1	障害者関係事業	1
	(1) 第32回東京都障害者総合美術展	1
	(2) 平成29年度東京都障害者休養ホーム事業	1
	(3) 第37回「障害者週間」記念の集い・ふれあいフェスティバル	2
	(4) 第34回障害者のためのふれあいコンサート	3
	(5) 平成29年度第32期パラアートスクール（障害者のカルチャースクール）	4
	(6) パラアート国際交流事業	5
	(7) 明治神宮例祭奉祝「奉納第76回全日本力士選士権大会」への招待事業	7
2	高齢者関係事業	8
	(1) 介護サービス情報の公表	8
	(2) 第19回クプナ・フラ・フェスティバル	8
	(3) 第22回シニアコーラス・TOKYO・フェスティバル	9
	(4) 高齢者のはつらつカラオケコンクール	9
II	共催・後援・協力事業	10
	(1) 第51回スポーツの集い	10
	(2) 第54回東京都老人クラブ芸能大会	10
III	東京都福祉サービス第三者評価	11
IV	法人の運営	12
1	理事会・評議員会等	12
2	後援会等	13

I 公益事業関係

1 障害者関係事業

(1) 第32回東京都障害者総合美術展

障害者が日頃からの研鑽を積み重ねて創作した作品を発表する機会を通じて、障害者が持つ芸術文化的能力を広く社会に披露し、その能力を基にした自立と社会参加を促進することを目的に、毎年開催している。

主 催：東京都

主 管：日本チャリティ協会

期 日：平成29年7月27日（木）から7月31日（月）まで（5日間開催）
（審査会：7月25日（火） 場所：東京都社会福祉保健医療研修センター）

時 間：午前10時から午後9時まで（日曜日は午後8時まで、最終日は午後4時閉会）

場 所：西武池袋本店7階特設会場

内 容：

募集方法：公募（都内在住の障害者）

募集内容：絵画・造形・書・写真

表彰：東京都知事賞（最優秀賞1点、優秀賞2点、佳作5点、奨励賞5点、
努力賞5点）、日本チャリティ協会会長賞1点、審査員特別賞1点
計20点

応募点数：絵画497点・造形83点・書88点・写真52点 計720点
（前年度 計742点）

入選展示数：200点（前年度200点）

審査員：建畠 哲、友永詔三、堀吉光、板見浩史、下川明美、高木金次

表彰式：平成29年7月27日（木）9時40分 展示会場内

高円宮妃殿下

梶原 洋 東京都福祉保健局長

森田岳史 そごう・西武池袋本店 本店長

高木金次 日本チャリティ協会会長

建畠 哲 障害者総合美術展審査員

来場者：3,084名（前年度3,893名）

(2) 平成29年度東京都障害者休養ホーム事業

障害者（児）が、家族や仲間とくつろぐことができる東京都指定の保養施設を利用したとき、その宿泊利用料の一部を助成し、障害者及び介助者の豊かで生きがいのある生活を実現することを目的にした制度で、東京都からの委託を受けて利用助成

金の清算業務等を実施した。

主 管：東京都

管 理：日本チャリティ協会

受託期間：平成 29 年 4 月から平成 30 年 3 月まで

利用対象：都内在住の障害者及び付添者

受託内容：休養ホーム利用申込、相談及び施設利用料助成金精算業務

年間利用者

区分		29 年度	28 年度	27 年度
利用件数		2,674 件	2,740 件	2,889 件
利用者数		19,090 名	20,156 名	22,041 名
内 訳	身体障害	7,406 名	7,969 名	8,976 名
	知的障害	10,093 名	10,400 名	11,215 名
	精神障害	1,591 名	1,787 名	1,850 名

指定施設：(数字) は都指定施設の数 合計 36 施設(前年度 36 施設)

北海道 (2)	ピュアフィールド風曜日、うねうね畑とくもの月
東北方面 (2)	湖畔のホテルクオレ、かんぼの宿郡山
常磐・関越方面 (11)	いこいの村涸沼、かんぼの宿／大洗・塩原、冬桜の宿神泉、ガストホフエール、栃木県障害者保養センター那珂川苑、湯沢ニューオータニ、ホテルエフ、ニューグリーンピア津南、まついだ森の家、休暇村奥武蔵
房総方面 (3)	かんぼの宿／勝浦・鴨川・旭
中央線・信州方面 (8)	かんぼの宿／青梅・石和・諏訪、雅樹雅、富士レークホテル、ペンション山ぼうし、ペンションさゆ〜る、旅館はくら
伊豆・箱根方面 (5)	すばる、箱根高原ホテル、熱川ハイツ、ペンションひゅっかり、ウェルカムインサニーステップ
東海方面 (3)	ホテル富士リゾート、かんぼの宿／浜名湖三ヶ日・知多美浜
関西方面 (2)	ホテルビナリオ嵯峨嵐山、神戸ポートピアホテル

(3) 第 37 回「障害者週間」記念の集い・ふれあいフェスティバル

昭和 56 年に開催した「国際障害者年ふれあいフェスティバル」を契機にして、障害者を取り巻く問題について、都民の理解と認識を深めることを目的に、毎年開催している。

主 催：東京都、日本チャリティ協会

後 援：内閣府、厚生労働省

期 日：平成 29 年 12 月 4 日（月）

時 間：午後 1 時から午後 3 時 10 分まで

場 所：東京都庁第一本庁舎 5 階大会議場

内 容：第一部 記念式典

▶表彰：障害者福祉関係知事表彰

① 自立支援功労者 受賞者 6 名

② 自立生活者 受賞者 2 名

▶記念品贈呈：日本チャリティ協会

第二部 ふれあいステージ

▶ダンスパフォーマンス 「みんなのダンスフィールド」

▶ふれあいトークショー 「高田裕士（デフリンピック陸上競技選手）・千明（パラリンピック陸上競技選手）ご夫妻」

▶ふれあいコンサート 「新垣 勉（声楽家）」

司会／秋島由実

参加者： 320 名（前年度 430 名）

（4）第 34 回障害者のためのふれあいコンサート

障害者やその家族などを対象に、オーケストラの演奏によるクラシック音楽等を鑑賞する機会を提供することによって、障害者の積極的な社会参加を促進し、豊かで生きがいのある暮らしを実現することを目的として、毎年開催している。

主 催：東京都、日本チャリティ協会、東京都交響楽団

協 賛：株式会社大塚商会

期 日：平成 30 年 3 月 11 日（日）

時 間：午後 2 時から午後 4 時まで

場 所：新宿文化センター大ホール

内 容：第一部 小野リサ / ボサノバ歌手

第二部 管弦楽演奏 演奏／東京都交響楽団
指揮／大野和士

司会／加藤知華

招待者：1,017 名（前年度 1,005 名）

(5) 平成 29 年度第 32 期パラアートスクール (障害者のカルチャースクール)

障害者の自立と社会参加への支援及び障害者が持つ芸術文化に関する潜在的能力の開発を目的に、各界の著名な作家を講師として招聘し実施した。また、豊島区の「としまアート教室」について、運営を受託した。

主 催：日本チャリティ協会

期 日：平成 29 年 4 月から平成 30 年 3 月まで (実技指導 年 18 回)

場 所：東京都障害者福社会館

内 容：全 4 コース／マンガ・イラスト、一般絵画 A・B、書道

講 師：横川永鷺、石渡鷺遊、白木ゆり、津田光郎、ウノカマキリ、堀吉光、板倉知恵、八木道夫、タナカミノル

○開講式

期 日：平成 29 年 4 月 2 日 (日)

時 間：午前 10 時 30 分から午前 11 時 30 分まで

場 所：東京都障害者福社会館

内 容：主催者挨拶 (日本チャリティ協会会長)

講師紹介及び委嘱状交付

受講者：

コース	第 32 期	第 31 期	第 30 期	第 29 期	第 28 期
マンガ・イラスト	12 名	13 名	14 名	14 名	18 名
一般絵画 A	16 名	17 名	17 名	18 名	21 名
一般絵画 B	13 名	21 名	20 名	19 名	20 名
書道	23 名	12 名	18 名	17 名	20 名
合 計	64 名	63 名	69 名	68 名	79 名

○修了式

期 日：平成 30 年 3 月 19 日 (日)

時 間：午前 10 時 30 分から午前 11 時 30 分まで

場 所：東京都障害者福社会館

内 容：修了証・皆勤賞の授与

祝辞 (日本チャリティ協会会長、各講師)

修了証授与：

コース	第 32 期	第 31 期	第 30 期	第 29 期	第 28 期
マンガ・イラスト	12 名	12 名	13 名	13 名	17 名
一般絵画 A	16 名	16 名	16 名	16 名	18 名
一般絵画 B	12 名	19 名	17 名	18 名	19 名
書道	20 名	11 名	14 名	14 名	16 名
合 計	60 名	58 名	60 名	61 名	70 名

皆勤賞授与：計 17 名 (昨年 19 名)

○豊島区「としまアート教室」の運営

期 日：平成 29 年 8 月から平成 30 年 2 月まで

内 容：豊島区障害者施設を利用した連続講座（10 回）に講師を派遣。10 名の受講者が各自で決めたテーマに沿って制作、作品は豊島区主催の第 11 回美術展「ときめき創造展」（平成 30 年 3 月）に展示された。

(6) パラアート国際交流事業

「パラアート」とは、「2009 アジア・パラアート TOKYO」展記念シンポジウムにおいて、障害を持つ作家たちが創作する芸術を象徴するものとして採択され、「身体、精神、知的のあらゆる障害を抱えた人の美術・アート作品及びその活動」を意味している。

当協会は、2020 年 7 月に東京オリンピック・パラリンピック開催に合わせ、文化プログラムの一環として「国際障害者美術展（パラアート国際交流展）」を実現することによって、「パラアート」の国際的な周知と、障害者の幅広い活動とその作品への認識を内外に発信することを目標に、国際交流事業を企画してきた。平成 29 年度は、「書」の魅力にスポットを当て、日・中・韓を軸に障害者の作家交流を通じ、独立したジャンルとして国際的な認知を図ることを目的として、第 4 回国際交流展を開催した。

① 「2017 アジア・パラアート-書-TOKYO」第 4 回国際交流展

期 日 平成 29 年 11 月 8 日(水)～11 月 12 日(日)

場 所 としまセンタースクエア(豊島区役所本庁舎 1 階)

内 容 ア 日本・中国・韓国を中心とした障害者の「書」作品の展示

日本全国の作品 50 点、中、韓を中心にしたアジア諸国の作品 44 点

イ 特別展 各界著名人の書 展示 45 点

ウ 揮毫出演者 4 名の書

(日本) 金澤翔子氏 (韓国) 石徹宇氏 (中国) 趙靖氏

(日本) 鈴木達也氏

来場者 1,374 名

② 「2017 アジア・パラアート-書-TOKYO」座談会の開催

期 日 平成 29 年 11 月 8 日(水)午後 3 時～4 時 30 分

場 所 豊島区役所本庁舎 5 階庁議室

内 容 毎日新聞社編集編成局学芸部 桐山正寿氏の司会により、中・韓の作家や団体から活動に関する財務状況や各国の書の現状、将来的展望等を話し合った。

出席者

日本 八代英太実行委員長、堀吉光運営委員長、高木会長
中国 太康（障碍人雑誌社副編集長 張和勇氏代理・書家）、趙靖（書家） 他
韓国 金忠顯（障碍者美術協会会長）、申鐘鎬（障碍者文化センター理事長）、
安仲源（障碍者文化・芸術連合会理事長）、石徹宇（書家）

③ 第2回パラアート国際交流連絡協議会協力委員会

日・中・韓の3か国の代表の参加のもとに、国境を越えた障碍者アートの普及を目指し、平成27年に協力委員会を立ち上げた。

時 期 平成29年11月8日（水）午後5時30分～

場 所 豊島区役所本庁舎5階507号室

内 容 足立則夫連絡協議会協力委員会事務局長の司会により、1年間の内外の活動報告があり、第4回国際交流展「2017 アジア・パラアート-書-TOKYO」展の経過報告と今後の活動、リリースの準備、アンケートの実施について協議、2020東京オリンピック・パラリンピックにおける参加の提案、国際展の参加国拡大及び日・中・韓の連携交流先についての情報共有について話し合われた。

出席者

高木会長（連絡協議会会長）、足立則夫（連絡協議会事務局長）、

高橋隆史（豊島区保健福祉部障害課長）

石岡亜希子（中国障碍人雑誌社副編集長代理 早稲田大学院アジア太平洋研究員）

金忠顯（韓国障碍者美術協会会長）、申鐘鎬（障碍者文化センター理事長）、安仲源（障碍者文化・芸術連合会理事長）

④ 韓国・中国パラアート交流事業

2009年より交流のある中国・韓国の機関との連携事業として両国の障碍者展に参加協力した。

韓国 「2017 韓国国際障碍者美術大展」

時 期 8月30日～9月3日 （8月30日 開会式）

場 所 ソウル 弘益大学現代美術館

内 容 絵画・書・造形作品約180点内日本より10点作品展示

中国 「国際融合展」

時 期 9月21日～9月24日

21日 開会式

22日 「障碍者芸術と産業」フォーラム（日、中、韓、オランダ）

場 所 武漢市 障害者芸術会館

内 容 絵画・書・作品約 115 点内日本より 10 点作品展示

⑤「東京都専門学校&デザイン展」との連携事業

協会が推進している「パラアート」の普及、広報活動として専門学校生等に対し「パラアート」の社会的周知と認識拡大を目的に「東京都専門学校&デザイン展」に参加している。

本年度は「2017 アジア・パラアート-書-TOKYO」展のチラシ、ポスターデザインコンテストを実施し、参加 11 校に呼びかけ作品を募集、優秀作品を表彰した。

日 時 平成 30 年 2 月 21 日(水)～27 日(火)

場 所 東京都美術館 ロビー館

内 容 [SEBIT×パラアート]連携事業コーナーにおいて、ポスターデザインコンテスト作品展示とパラアートスクール生徒作品を展示

表 彰 最優秀賞 1 点 日本チャリティ協会会長賞 1 点
東京都専修学校各種学校協会会長賞 1 点

*SEBIT 東京都内の美術・デザイン系専門学校生が制作した絵画・版画・工芸・写真・イラスト・マンガ・デザイン（平面・立体・デジタル）・ジュエリー・映像・ファッション・インテリア・建築・家具など様々な作品を学校毎に展示する卒業作品展

⑥全国障害者芸術・文化祭への出展参加

「パラアート」の普及を図るため、第 10 回徳島大会から参加、本年度は、奈良県と厚生労働省が主催する第 17 回「全国障害者芸術・文化祭なら大会」において、「パラアート」コーナーに出展参加した。

期 日 平成 29 年 11 月 23 日(木)～30 日(木)

場 所 きらっ都・奈良 2 階スペース

内 容 「2017 アジア・パラアート-書-TOKYO」展の作品から日・中・韓の 7 作品

(7) 明治神宮奉納「第 76 回全日本力士選士権大会」招待事業

相撲力士の取組を観戦する機会に恵まれない障害者を招き、伝統と技の世界を体験させたいとの主催者の意向を受けて、全日本力士選士権大会の招待事業を実施した。

主 催： 明治神宮

協 力： 日本相撲協会、日本チャリティ協会（昭和 56 年第 41 回から協力）

期 日： 平成 29 年 10 月 2 日（月）

時 間： 午後 12 時 30 分から午後 4 時 20 分まで

場 所： 両国国技館

招待者： 障害者（児）と家族 1,400 名を招待

2 高齢者関係事業

(1) 介護サービス情報の公表

介護サービス情報調査は、介護保険法に基づく都道府県の自治事務で、介護サービス事業者のサービスの内容や運営状況を調査した客観情報をインターネット等により公表する制度。都の指定調査機関としてサービス提供事業者に対する調査を行った。

調 査 員：調査従事調査員 6（登録調査員 12 名）

調査期間：平成 29 年 11 月～平成 30 年 3 月

調査件数：83 件（調査員平均調査件数 15 件）

介護サービス区分	29 年度	28 年度	27 年度
訪問介護・訪問入浴介護・訪問看護・訪問リハビリテーション	24 件	32 件	45 件
通所介護・通所リハビリテーション	27 件	25 件	32 件
特定施設入居者生活介護（有料・軽費・高齢者向け住宅）	5 件	6 件	6 件
福祉用具貸与	2 件	3 件	4 件
小規模多機能型居宅介護	0 件	0 件	0 件
認知症対応型共同生活介護	0 件	0 件	0 件
居宅介護支援	20 件	21 件	28 件
介護老人福祉施設・短期入所生活介護	2 件	3 件	3 件
介護老人保健施設・短期入所療養介護	2 件	1 件	1 件
介護療養型医療施設	1 件	0 件	09 件
計	83 件	91 件	119 件

(2) 第 19 回クプナ・フラ・フェスティバル

中高年者グループによる質の高いフラダンスの発表の場を提供し、中高年者の文化活動の促進と親睦及び健康の維持増進等を図り、明るく元気な高齢社会づくりに寄与することを目的に開催している。

主 催：クプナ・フラ・フェスティバル運営委員会・日本チャリティ協会

後 援：ハワイ州、ハワイ州観光局、東京都、全国老人クラブ連合会、東京都老人クラブ連合会

協 賛：日本ハワイアン音楽協会、Hawaiian Fan

協 力：HULA Le`a

企画制作：(株) 公共事業PRセンター

期 日：平成 29 年 6 月 24 日（土）午後 3 時から午後 8 時まで

場 所：中野サンプラザホール

出 演 者：全国フラグループ 15 組（前年度 19 組）
フラグループにハワイ州知事より感謝状を交付贈呈

特別出演：クムフラ カワイナカプオカラニ・ヒューエット

来 場 数：1,732 名（前年度 2,046 名）

（3）第 22 回シニアコーラス・TOKYO・フェスティバル

高齢者が日頃積み重ねたコーラス活動の成果を競うとともに、参加者相互の理解と親睦を深めることによって高齢者の積極的な社会参加を促進し、より豊かで充実した文化生活の実現と高齢者福祉の増進を図ることを目的にしてシニアコーラスコンクールを開催した。

主 催：シニアコーラス・TOKYO・フェスティバル運営委員会・日本チャリティ協会
東京都老人クラブ連合会

後 援：厚生労働省 文部科学省 東京都 全国老人クラブ連合会

協 賛：都民共済

協 力：東京都合唱連盟

企画制作：(株) 公共事業PRセンター

期 日：平成 30 年 2 月 10 日（日）

時 間：午前 11 時 30 分から午後 7 時 30 分まで

場 所：東京オペラシティコンサートホール（タケミツメモリアル）

参 加：40 組 989 名（前年度 38 組 864 名）

審 査 員：服部克久、安田祥子、岸信介、千住 明、宇佐美瑠璃

来 場 数：2,253 名（前年度 2,329 名）

（4）高齢者のためのはつらつカラオケコンクール

高齢者が日頃から積み重ねた歌自慢の成果を競うとともに、参加者相互の理解と親睦を深め、生きがいと積極的な社会参加を促し、豊かで充実した文化生活を送ることのできる高齢者福祉の増進を図ることを目的に開催している。

主 催： 各地区老人クラブ連合会他

共 催： 日本チャリティ協会
後 援： 東京都老人クラブ連合会
企画制作：(株) 公共事業PRセンター

○第 163 回大田区大会

期 日：平成 29 年 10 月 17 日（火）
場 所：大田区民ホールアプリコ大ホール
審査員：反畑誠一、満留紀弘、大田区老人クラブ連合会会長
出場者：65 名（前年度 54 名）
参加者：1,000 名
アトラクション：山川 豊、松川未樹

○第 164 回世田谷区大会

期 日：平成 29 年 11 月 28 日（火）
場 所：烏山区民会館ホール
審査員：瀬川昌久、森 淑
出場者：66 名（前年度 56 名）
参加者：500 名
アトラクション：ビリケン、井上由美子

II 共催・後援・協力事業

(1) 第 51 回スポーツの集い

第 18 回東京都障害者スポーツ大会の競技部門の 1 つとして、在宅及び施設等を利用している重度の知的障害者（児）とその家族や関係者を対象に、スポーツに触れる機会を提供することを目的として開催される「スポーツの集い」において、アトラクションの企画運営に協力した。

主 催：東京都障害者スポーツ協会、東京都、NHK厚生文化事業団
後 援：特別区長会 東京都市長会 東京都町村会 日本チャリティ協会他
期 日：平成 29 年 9 月 13 日（水）
時 間：午前 10 時から午後 3 時 30 分まで
場 所：東京体育館メインアリーナ
内 容：アトラクションのプロデュースに協力
出演者：拓殖大学麗澤会総務局吹奏楽部
日本体育大学体操部 赤坂ベンチャーズ
司会／新宮隆子
参加者：1,020 名（前年度 1,159 名）

(2) 第 54 回東京都老人クラブ芸能大会

各地区老人クラブ（区市町村単位）が健康増進及び会員相互の交流と親睦のために取り組んでいる民謡（新舞踊、フラダンス等の民族舞踊を含む）の祭典の運営に関する助言と審査員の派遣協力を行った。

主 催：東京都老人クラブ連合会

後 援：厚生労働省、東京都、日本チャリティ協会他

期 日：平成 29 年 9 月 25 日（月）

時 間：午前 10 時から午後 4 時まで

場 所：文京シビックセンター大ホール

内 容：老人クラブ民謡舞踊コンクールの運営及び観客動員

審査員：二瓶長記、藤間松三枝、芥川美佳

参加者：1,100 名（出場者 37 組 315 名）

Ⅲ 東京都福祉サービス第三者評価

高齢者、障害者福祉施設等のサービスを、事業者・利用者いずれでもない第三者の立場から、専門的かつ客観的に、サービスの内容や質、マネジメントの力などを評価する事業であり、協会所属の評価者により幅広い福祉サービスの評価を実施、東京都福祉サービス評価推進機構を通じて、利用者への的確な情報を提供している。

評価実施件数：35 件（前年度 47 件）

《福祉サービス分野別内訳》

高齢者福祉サービス分野	10 件
障害者（児）サービス分野	18 件
児童・生活保護等のサービス分野	1 件
利用者調査	6 件

評価従事評価者数：29 名（協会登録：主たる評価者 14 名、従たる評価者 15 名）

1 人当たりの平均評価件数：1.21 件

IV 法人の運営

1 理事会・評議員会等

(1) 理事会の開催

①平成 29 年第 2 回理事会

期 日：平成 29 年 5 月 26 日（金）

場 所：当協会役員室（会議室）

内 容：

- ア. 平成 28 年度事業報告案について
- イ. 平成 28 年度決算報告案について
- ウ. 理事・評議員の退任及び選任について
- エ. 平成 29 年定時評議員会の開催について

②平成 29 年第 3 回理事会

期 日：平成 29 年 6 月 23 日（金）

場 所：当協会役員室（会議室）

内 容：

- ア. 会長（代表理事）の選任について
- イ. 相談役等の任期及び候補案について
- ウ. 事務局長の候補案について

③平成 30 年第 1 回理事会

期 日：平成 30 年 3 月 23 日（金）

場 所：当協会役員室（会議室）

内 容：

議事案件

- ア. 平成 30 年度事業計画について
- イ. 平成 30 年度事業予算について

協議報告案件

- ア. 定款変更案（理事役員の新設）の協議について
- イ. 短期借入と財産の運用方針について
- ウ. 協会の業務執行状況について

(2) 評議員会

①定時評議員会

期 日：平成 29 年 6 月 23 日（月）

場 所：当協会役員室（会議室）

内 容：

- ア. 平成 28 年度事業報告(案)について
- イ. 平成 28 年度決算報告(案)について
- ウ. 理事・評議員等の選任について

(3) 監事監査の実施

期 日：平成 29 年 5 月 19 日（木）

場 所：チャリティ協会役員室（会議室）

内 容：平成 28 年度決算審査について

2 後援会等（通年）

協会の活動を支える後援会等の充実を図り、障害者・高齢者ならびに福祉関係者やボランティアを音楽、芸能スポーツ等の催物に招待、会員の拡充につなげた。

(1) 「クォーターリーニュース」の発行 各号 2,000 部

区分	2017-Vol. 102	2018-Vol. 103
報 告	第 33 回ふれあいコンサート、第 21 回シニアコーラス、第 19 回クプナフラ他	第 37 回ふれあいフェスティバル、高齢者のはつらつカラオケコンクール
特 集	第 32 回東京都障害者総合美術展	2017 アジア・パラアート-書-TOKYO 第 4 回国際交流展

(2) 後援会会員 162 名（平成 30 年 3 月 31 日現在数）

賛助会員 68 名（平成 30 年 3 月 31 日現在数）

(3) ボランティアの協力支援（通年）

本協会が事業を推進していく上において、ボランティアの協力は欠かせないものとなっており、その組織化を図っている。

主な分類：協会のイベント参加者並びに企業OB、シニアボランティアクラブ、自薦の有志

参加事業：障害者総合美術展、パラアート展、ふれあいコンサート、ふれあいフェスティバル、シニアコーラスフェスティバル、クプナ・フラ・フェスティバルなどの各種イベントの受付、会場整理、アンケート調査などの発送、パソコン入力ビデオ・写真撮影

参加人数：ボランティア参加延べ人数

イベント／ 239 名（内カメラ・ビデオボランティア 8 名）